

アクセス (長崎駅から)

路線バス

●長崎バス

<路線バス>
長崎駅前南口より17番
『新地中華街』行き、または
27番『中央橋』行きに乗車し、「出島」下車、徒歩1分。

<観光ルートバス>

※土日祝のみ運行
長崎駅前(交通広場)または長崎駅西口より乗車し、「出島」下車、徒歩1分。

●長崎県営バス

<路線バス>
長崎駅前南口から「大波止」経由のバスに乗車し、「出島」下車、徒歩1分。



路面電車

長崎駅前から「崇福寺」行きに乗車し、「出島」電停下車、徒歩4分。



自動車

JR長崎駅から約6分。長崎自動車道長崎IC・ながさき出島道路から約1分。
※駐車場は付近の民間駐車場をご利用ください。

営業時間

8:00-21:00

※最終入場は閉場の20分前まで
※年中無休
※ペビーカー・車いすの無料貸出し
サービスあり

お問い合わせ

〒850-0862 長崎市出島町6番1号

TEL/FAX 095-821-7200

出島公式Webサイト <https://nagasaki-dejima.jp>

<https://www.facebook.com/nagasaki-dejima/>



公式SNS

<https://twitter.com/nagasaki-dejima>



<https://www.instagram.com/nagasaki-dejima/>



表紙画/川原慶賀筆「長崎港図」(長崎歴史文化博物館収蔵)



国指定史跡 出島和蘭商館跡

日本が海外と交流を閉ざしていた鎖国時代。長崎が西欧に開かれた唯一の窓口でした。岬の突端にある扇形をした人工の島。この小さな島から、西欧の新しい知識と文化が日本中に広まっていったのです。そして復元が進む今、新しい出島がはじまっています。

長崎・出島 年表

1571年(元亜2)	長崎開港、ポルトガル船が入港
1580年(天正8)	キリシタン大名・大村純忠が長崎と茂木をイエズス会に寄進
1588年(天正16)	豊臣秀吉が長崎・茂木・浦上を天領(直轄地)にする
1597年2月5日(慶長元年12月19日)	長崎の西坂でキリスト教徒26聖人が殉教
1602年(慶長7)	連合オランダ東インド会社設立
1609年(慶長14)	オランダ商館、平戸に開設
1612年(慶長17)	幕府が直轄地にキリスト教禁止令を発する
1622年(元和8)	長崎の西坂でキリスト教徒55名が殉教(元和の大殉教)
1634年(寛永11)	出島築造が始まる
1636年(寛永13)	出島完成 ポルトガル人を出島に収容
1637年(寛永14)	島原・天草一揆
1639年(寛永16)	ポルトガル船来航禁止
1641年(寛永18)	オランダ商館、平戸から出島へ移転
1678年(延宝6)	出島橋を木橋から石橋へ架け替え
1690年(元禄3)	オランダ商館医ケンペル来崎
1775年(安永4)	オランダ商館医ツュンベリー来崎
1798年(寛政10)	出島大火 カピタン部屋など焼失
1799年(寛政11)	連合オランダ東インド会社解散
1803年(享和3)	オランダ商館長ドゥーフ来崎
1808年(文化5)	イギリス船フェートン号事件
1809年(文化6)	カピタン部屋再建
1823年(文政6)	オランダ商館医シーボルト来崎
1828年(文政11)	シーボルト事件
1844年(弘化元)	オランダ国王、日本に開国を勧告
1854年(安政元)	日米和親条約を締結
1855年(安政2)	海軍伝習所開設・日蘭和親条約締結
1859年(安政6)	オランダ商館を廃止し、領事館を開設 長崎開港
1866年(慶応2)	外国人居留地に編入
1888年(明治21)	中島川変流工事により出島の北側を削除
1904年(明治37)	第2期長崎港湾改良工事により出島が内陸化
1922年(大正11)	国の史跡に指定
2022年(令和4)	国史跡指定100周年を迎える

暮らし**西洋から
やってきた
様々な文化**唐蘭館絵巻
宴会図

暁の上に椅子とテーブルを並べ、西洋の食事をおこなっている様子。花街丸山の遊女の姿も。(長崎歴史文化博物館収蔵)

漢洋長崎居留図巻・
長崎阿蘭陀出島之図**ひと****出島で
活躍した
人々**

出島にオランダ商館があった218年の間に、157人の商館長(カピタン)と約150名の商館医が着任しました。そのほとんどが約1年という短い滞在期間でしたが、国の事情で19年もの長い間、長崎に滞在したのがヘンドリック・ドゥーフです。



出島の三学者

出島の三学者

エンゲルベルト・
ケンペルヘンドリック・
ドゥーフ

カール・ペーター・ツュンベリー	フィリップ・フランツ・フォン・シーボルト
1743-1828	1796-1866
スウェーデン生まれ。帰国後「日本植物誌」や「日本動物誌」を発表。(国立国会図書館蔵)	ドイツ生まれ。1690年に商館長付き医者として来日。江戸参府にも2回随行し、帰國後は「日本誌」を制作。

1651-1716	1777-1835
ドイツ生まれ。1690年に商館長付き医者として来日。江戸参府にも2回随行し、帰國後は「日本誌」を制作。	オランダ生まれ。イギリス船が不法入港した「フェートン号事件」の解決に尽力。本格的なオランダ語辞書も編纂。